



【横浜市立大学による研究についてのお知らせ】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）からの回復者は抗体ができて免疫を獲得しているのか？
半年後、1年後も免疫は残っているのか？

日本初「コロナ回復者専用抗体検査プロジェクト」9月2日より順次採血開始 フリーアナウンサー赤江珠緒さん、元プロ野球選手片岡篤史さんが協力

2020年8月より研究協力の受付が開始された、横浜市立大学医学部の山中竹春教授らによる、COVID-19に感染し回復された方々を対象とした、日本初「コロナ回復者専用抗体検査プロジェクト」の採血を9月2日（水）より各地にて順次開始いたします。国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）令和2年度ウイルス等感染症対策技術開発事業として、抗体測定の意義を明らかにする日本で初めての大規模な研究となります。〔研究課題名：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）回復期の患者における抗体検査および免疫獲得に関する観察研究〕

今回の研究は、（１）感染者の免疫反応として体の中に出来た新型コロナウイルスに対する抗体が、6ヶ月後（および1年後）という中長期を経た後も体に残るのかどうかを調べる調査となります。加えて、（２）中長期にわたり抗体が残る場合、その抗体は再感染しにくいことを意味する「鋼の盾」なのか、あるいは単なる「紙の盾」なのかも調べます。すなわち、一般的な抗体測定のほか、再感染阻止に寄与する中和抗体の測定を同時に行う初の大規模調査でもあります。本研究で得られた結果はさらに国産抗体検査キットの普及やワクチンの開発に貢献することが期待されます。

ご自身がCOVID-19と闘病し回復をした経験をもつフリーアナウンサーの赤江珠緒さん、元プロ野球選手の片岡篤史さんらも1回目の採血を9月、10月中に実施予定です。

※参加申込み人数は500例以上（2020年8月31日現在）

※研究協力者の検査結果はご本人にお知らせいたします

新型コロナと

戦った証を、
未来の力に。

コロナ
回復者専用
抗体検査
PROJECT

コロナ回復者専用抗体検査の流れ

【申込み方法（無料）】※2020年9月30日（水）20：00にて受付終了予定（早期受付終了の可能性あり）

コールセンターよりお申込みいただき、採血日・場所を決定

コールセンター：0120-299-300 <平日 9：00～20：00、土日祝（年末年始は除く） 9：00～17：00>

申込み

採血日時、
場所の案内、予約

採血

1～2ヶ月後、
検査結果をご本人に通知

【採血会場を設置する都道府県】※2020年9月1日（火）現在】

東京都、神奈川県、大阪府（計15の医療施設）。今後、約30施設に拡大予定

※プライバシー保護のため、施設の詳細に関するお問合せにはお答えしておりません

【研究協力者に戻される結果情報】

「一般的な抗体」と「再感染阻止に関する抗体」の検査結果をお知らせします（無料）

【新型コロナ回復者専用抗体検査PROJECT 特設サイト】

<https://covid19-kaifuku.jp>

研究協力者



フリーアナウンサー 赤江 珠緒 / AKAE Tamako

Profile：1975年1月9日生まれ。B型。朝日放送97年入社後、テレビ朝日「スーパーモーニング」「サンデープロジェクト」などのMCを経て、現在はTBSラジオ「赤江珠緒たまむすび」他、出演。

コメント：コロナの抗体の持続性はどの程度なのか、、、いまだ分からない事だらけの未知の病です。研究が進み、病気の輪郭が少しでも鮮明になれば「得体が知れないから怖い」から一歩前に進めるかもしれません。今後の様々な対策が変わってくるはず。抗体検査がその一助になればと思います。



元プロ野球選手 片岡 篤史 / KATAOKA Atsushi

Profile：1969年6月27日生まれ。PL学園高校時代に甲子園春夏連覇を達成。同志社大を経て、日本ハムファイターズに入団。選手会長も務め、チームの柱となる選手として活躍。FA宣言で阪神タイガースへ移籍後は優勝に貢献。現役引退後はプロ野球解説者をはじめ多方面で活躍。

コメント：入院中は多くの皆様からの励ましのコメントと医療関係者のおかげで頑張ることができました。今後のことはまだ見通せませんが、回復者が入れるこの研究に参加して、自分自身のコロナに対する免疫力を調べようと思います。研究に参加する人が増えれば、回復者の知りたい情報が得られますね。

担当：和田 携帯 080-4762-1889 / MAIL info@nenelaco.com